

## 第67回中部日本生理学会

会 期：令和2年10月16日（金）～20日（火）

会 場：Web開催

当番幹事：愛知医科大学医学部生理学講座

生理学2 佐藤元彦

生理学1 増渕 悟

演 題 数：53題

参加人数：123名

第67回中部日本生理学会は当初、愛知医科大学での開催を目指しましたが、新型コロナウイルスの影響から大学での開催は困難と判断し、オンデマンド方式によるWeb学会として開催いたしました。例年の会期は2日間ですが、参加しやすいよう会期を5日間に伸ばしました。本学会としては初めてのWeb開催でしたが、123名の方が参加されました。演題数は、口頭発表が29題、ポスター発表が24題で、合計53題の発表をいただきました。コロナ禍で発表の機会が少ないという状況からか、関西や関東からのエントリーもありました。幅広い分野からの研究成果が発表され、掲示板を利用した活発な質疑応答が行われました。今回は特別講演を設定し、愛知医大理事長・学長の祖父江元先生から「神経変性疾患治療法開発の時代へ」と題してご講演をいただき、基礎医学と臨床医学の関わり合いについて深く考える機会となりました。メール稟議による総会では、各種委員会等の報告、新たに中部地区に着任された教授のご紹介をいたしました。また、2年後の第69回大会の当番幹事を藤田医科大学医学部の長崎弘先生と山下貴之先生に決定しました。

ご参加くださった皆様、および協賛をいただいた企業の方々に改めて感謝いたします。ありがとうございました。

次回の第68回大会は、金沢医科大学医学部の倉田康孝先生、加藤伸郎先生が当番幹事をご担当され、2021年10月15日（金）、16日（土）に開催される予定です。

---

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 17～p. 35 をご覧ください。